

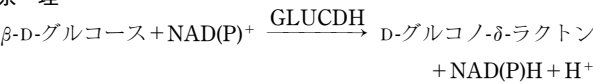
コード No. 071-02411 (100 units)

グルコース脱水素酵素 (GLUCDH)

起 源：Bacillus sp.
形 状：凍結乾燥粉末
活 性：ラベルに表示
最適 pH：8.0
最適温度：37℃

酵素活性測定法

1. 原 理



2. 試 薬

- A. 0.1 mol/L リン酸塩緩衝液，pH 7.0
- B. 0.1 mol/L トリス-塩酸緩衝液，pH8.0
- C. 1.5 mol/L D (+)-グルコース溶液（蒸留水）
- D. β-NAD⁺溶液 40 mg/mL（蒸留水）
- E. 酵素液（試薬Aで希釈して 0.01 mg/mL とする.）

3. 手 順

試 薬	Test	Control
B 27 mL	3.0 mL	3.0 mL
C 2 mL		
D 1 mL		
25℃予備加温		
E	0.05 mL	——
A	——	0.05 mL
25℃で2～5分間後の、340 nm における吸光度変化を記録し、1分間当たりの吸光度変化をΔAとする。		

4. 単位の定義

前記の条件下で25℃， 1 分間に 1 μmol の NADH を生成する酵素量を 1 unit とする.

(計 算)

$$\text{unit/mg} = (\Delta A \text{ test} - \Delta A \text{ control}) \times \frac{1}{6.22} \times 3.05 \times \frac{1}{0.0005}$$

6.22：NADH のミリモル吸光係数
3.05：総液量（mL）
0.0005：試料量（mg）

〔貯 法〕 −20℃保存

〔包 装〕 100 units

〔参考文献〕

丸尾文治，田宮信雄監修：「酵素ハンドブック」p.19（朝倉書店）（1982）.

製造発売元
富士フイルム 和光純薬株式会社
大阪市中央区道修町三丁目1番2号
Tel：06-6203-3741

1801KA1